

変更通知書:TWELITE CUE/ARIAと開閉センサーパルに搭載する磁気センサの変更(20220330)

概要

TWELITE CUE/ARIAと開閉センサーパルに搭載する磁気センサを変更します。

対象製品

この変更の対象製品は以下の通りです。

- MW-B-CUE-0(TWELITE CUE BLUE)
- MW-R-CUE-0(TWELITE CUE RED)
- MW-S-B-CUE-MSB(TWELITE CUE BLUE SET)
- MW-S-R-CUE-MSR(TWELITE CUE RED SET)
- MW-B-ARIA-0(TWELITE ARIA BLUE)
- MW-R-ARIA-0(TWELITE ARIA RED)
- MW-PAL-MAG-0(開閉センサーパル)

※ 型番の変更はありません。

時期

新たな磁気センサを搭載する製品は、2022年9月以降に現行品がなくなり次第、順次出荷します。

内容

対象製品に搭載する磁気センサを変更します。メーカーと型番は以下の通りです。

- 現:Texas Instruments, DRV5032FD
- 新:Diodes Incorporated, AH1390-HK4-7

※ 磁気センサの表面刻印により、両者を識別することができます。詳細は磁気センサのデータシートをご覧ください。

目的

世界的な半導体不足によって現行の磁気センサが入手困難となったため、入手性の高いものに切り替えます。

影響

製品に対して予想される影響は以下の通りです。

- 消費電流がわずかに増大します。
 - 磁気センサの平均消費電流が1.6uA@3.0V から 2.2uA@3.6V となります(データシート記載値)。
 - 目安として、製品スリープ時の消費電流が約0.5uA 上昇します。
 - 製品のスリープ時間を長く設定する場合には、スリープ時の消費電流を多めに見積もってください。
- 磁石の検知性能がわずかに上昇します。
 - 磁気センサに磁石を近づけた際の磁束密度のしきい値が 2.5mT から 1.7mT となります(データシート記載値)。
 - 目安として、当社の代表ユニットを用いる検査では、ネオジム磁石($\phi 10 \cdot t1$)の検知距離が約5mm から 約8mm に変化しました。
 - 製品の使用環境によっては、検知性能の変化がもたらす影響を十分に検討する必要があります。

磁気センサについての詳しい情報は、データシートをご覧ください。

注意点

この変更は、製品の型番や外観、品質、そして環境条件には影響しません。